

1. 基本情報

- (1) 国名：ラオス人民民主共和国（以下「ラオス」という。）
- (2) プロジェクトサイト／対象地域名：首都ビエンチャン
- (3) 案件名：チャオアヌボンスタジアム改修計画（The Project for Rehabilitation of Chao Anouvong Stadium）
- (4) 事業の要約：本計画は、首都ビエンチャンにおいて、チャオアヌボンスタジアム及び付帯施設の改修及び機材の整備を実施することにより、バリアフリー等の機能強化及び施設の安全性向上を通じアスリート及び幅広い市民の利用促進を図り、もってラオスにおける障害者の社会参加促進及びスポーツ・文化事業等の振興並びに都市環境整備に寄与するもの。

2. 計画の背景と必要性

- (1) 本計画を実施する外交的意義

当該スタジアムは首都ビエンチャンの中心地に位置し、一般市民にも開放されており、ラオス市民にとって身近で認識度の高い施設である。ラオスではビエンチャン郊外に中国の支援により収容人員 2 万 5 千人規模の新国立競技場が建設されており、これと比較すると本件対象となるチャオアヌボンスタジアムは、収容人員は 5 千人程度と小規模であるが、立地のよさと一般市民の日常的な利用を通じた訴求力は大きいと考えられる。我が国の協力により同スタジアムを改修しその利用価値を高めることは、ラオス政府及び国民の親日感情を醸成し、我が国のプレゼンスを示す好適な機会であり、協力実施による二国間関係の強化にとって高い効果が期待される。

また、ラオスに対しては一般文化無償により平成 20 年度に武道館建設を実施したところ平成 21 年（2009 年）11 月に開館）、同武道館は当該スタジアムと同敷地内にあり、「日本の顔の見える」支援としての相乗効果も期待できる。

さらに、本件はラオス政府にとっても我が国の無償資金協力による実施案件として優先順位の高いものであり、二国間関係のさらなる強化にとって意義が大きい。

- (2) 当該国におけるスポーツセクターの開発の現状・課題及び本計画の位置付け

チャオアヌボンスタジアムは、首都ビエンチャンの中心地に位置し、1950 年に当時の国立競技場として建設された歴史ある街の象徴である。ラオス政府及び教育スポーツ省は、「第 9 次国家社会経済開発計画（2021-25）」及び「教育セクター 5 か年計画（2021-25）」（両計画ともにラオス政府の承認手続き中）において「生活の質向上」及び「都市開発」を重点課題と位置づけ、社会的に困難な状況にある人々の社会参加促進や市民の健康増進、トップアスリートの育成、並びにスポーツ・文化と融合した街づくりによるインクルーシブとダイバーシティの価値観の普及に向け、スポーツ施設の拡充に取り組む方針である。

2009 年にビエンチャン郊外に新設された新国立競技場は主に国際的な大会の開催を目的に建設された。一方で、チャオアヌボンスタジアムは、ラオス国内のスポーツ（サッカー・ラグビー）やパラ陸上競技の大会及び練習の他、一般市民やアスリートを対象とした各種イ

ベント等の開催等に活用され、市街地の中心というアクセスの良さから一般市民の利用ニーズが高く、市民生活と一体となった街づくりや文化醸成にも貢献してきた。しかしながら、施設の老朽化が深刻であり、障害者を含むスポーツ競技者や一般市民の利用に対応した施設・機材が不足しており、安全かつ円滑な施設の運営に支障をきたしている。

本計画は、老朽化した競技場の改修・拡張等を通じて、バリアフリー対応型の施設としての機能強化及び安全性の向上を通じて、障害者を含むアスリート及びビエンチャン市民の文化・生活の向上を図るものであり、ラオスにおける障害者の社会参加促進及びスポーツ・文化の推進に貢献するものと位置づけられる。

3. 計画概要

* 協力準備調査の結果変更されることがあります。

(1) 計画概要

① 計画内容

ア) 施設、機材等の内容

【施設】スタジアムの施設改修：競技用フィールド・トラック、サッカーグラウンド（天然芝及び排水システム）、付帯施設（更衣室、トイレ、フィットネスルーム、メディカルルーム、倉庫、管理者用事務所、警備室等）、観客席（収容人数 5,000 人）の改修等。

【機材】トレーニング用機材、維持管理用機材。

イ) コンサルティング・サービス/ソフトコンポーネントの内容

【コンサルティング・サービス】詳細設計、入札補助、施工・調達管理

【ソフトコンポーネント】機材の管理方法に関する現地研修

② 期待される開発効果：本施設の利用者数及び利用回数の増加により、スポーツの実施環境が改善され、安全かつ円滑に施設及び機材が運営・利用されることを通じて、パラアスリートを含めてスポーツ活動の質の向上への貢献が期待される。また、障害者の社会参加の機会の拡充及び、市民の文化・健康面での生活環境の向上への貢献が期待される。対象となるビエンチャン市の人口は約 90.7 万人。計画実施機関／実施体制：ラオス教育・スポーツ省

③ 他機関との連携・役割分担：特になし。

④ 運営／維持管理体制：本計画実施後の運営・維持管理は教育・スポーツ省が行い、策定中の全国のスタジアム管理規則及び料金徴収に係る政府規定に基づき運用予定である。

また、施設・機材の維持管理に必要な仕様・技術及び経費について、協力準備調査にて詳細を確認し、同結果を踏まえた事業・予算計画を作成する。

(2) その他特記事項

- ・ 環境社会配慮カテゴリ分類：C
- ・ ジェンダー分類：GI（ジェンダー主流化ニーズ調査・分析案件）

4. 過去の類似案件の教訓と本計画への適用

ラオス向け無償資金協力「日本・ラオス武道館建設計画」（評価年度：2013 年）の事後評価等では、実施機関が適切に維持管理活動を行う上で必要な技術移転や、現地語によるマニュアル整備等の必要性が指摘されている。本計画では、協力準備調査段階で実施機関の維持管理能力、財務面の能力等も十分考慮の上、案件形成を行う。

以 上

[別添資料] 地図

出典：Google Maps



[別添資料] 写真



競技場及びトラック



観客席



メディカルルーム及び管理者用
事務室の外観



トイレ